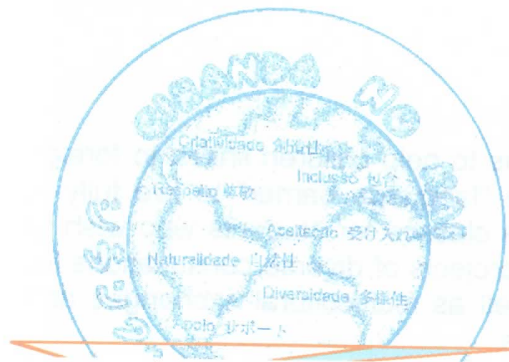




シランダの会 Ciranda no Kai

シランダの会とは・・・

外国につながる子どもたちが「言葉の壁」等の困難を乗り越え、日本の社会でいきいきと暮らしていけるように支援することを目的とし設立した市民団体です。日本語を学びたい児童生徒を対象とした日本語教室の開催を主な活動とし、各種相談事業、多文化共生に関する事業も適宜開催していく予定です。

現在、半田市内の小中学校には、日本語指導を必要とする児童生徒が約180人在籍しています。最近の傾向として、その人数は増加傾向にあること、また永住を望む場合が多いこと、国籍が多様になっていることが挙げられます。

複数の文化を受け継いで成長する彼らは、社会に豊かさをもたらす可能性を秘めた貴重な存在ですが、その力を発揮するためには「言葉の壁」をはじめとする様々な困難を乗り越えなければならないというのが、厳しい現実であります。

言葉の問題に関しては、各小中学校で指導を行ってはいますが、まだまだ十分とはいえません。そのため学習に意欲が持てなかったり、学習内容が十分に理解できなかったりするので、希望通りに進学できない場合も少なくありません。また、日本で長く生活する中で、年齢相応の母語を身につけることができずに、日本語も母語も中途半端な状態に陥ってしまうことも大きな問題です。

本会は、地域社会にこの問題について発信し理解協力を得ながら、これらの困難を少しでも軽減するため、児童生徒、さらには保護者への日本語教室を開設することを中心に、彼らが日本社会で力を発揮しいきいきと暮らしていくために必要な支援を進めていきたいと、外国人生活支援員や日本語指導担当の教員が中心となって結成したものです。

シランダの会会長 川野オチラ

シランダの会とは・・・

外国につながる子どもたちが「言葉の壁」等の困難を乗り越え、日本の社会でいきいきと暮らしていけるように支援することを目的とし設立した市民団体です。日本語を学びたい児童生徒を対象とした日本語教室の開催を主な活動とし、各種相談事業、多文化共生に関する事業も適宜開催していく予定です。

The Association Ciranda no Kai ... It is a group of citizens whose objective is to help children linked to foreign countries, to overcome the difficulties of the "language barrier" to live fully in Japanese society. Ensuring mainly Japanese classes for students who wish to learn Japanese, as well as planning various projects of diverse consultations for a more productive and full experience as well as multicultural exchanges and symbiosis, appropriate according to the needs.

☆日本語教室の参加者を募集します！

☆Open enrollment for interested in nihongo classes!

<場 所> 乙川北部記念館(横川保育園の向かい側)2F和室

<開催日時> 毎週金曜日 18:00~21:00 11月10日(金)から

<参加対象> ○ 外国につながる乙川中学校区の小中学生 小中各 15 名程度の予定

<内 容> 学校の勉強で困っていることを中心に個別指導する。

1 日本語がまだよく分からない人向け

・文字や文法を学ぶ

・自分の日本語の力に合った読み物をよむ

② かんたんな日本語は話せるが、日本語で学校の勉強をよく理解できない人向け

・学校の勉強や宿題の分からないところを一緒にやる

< 参加費 > 月500円(毎月封筒で集めます)

<参加の条件> ・シランダの会に登録する。

・お試し講座・説明会に保護者と一緒に参加する。

・原則、保護者が送迎をする。(行き帰りの事故等については責任を負いかねます。)

※その他、説明会で詳しく説明します。説明を聞いたあと、参加したいと思ったら申込をしてください。

希望者が定員(小中各 15 名程度)より多かった場合は、お断りすることがあります。

<Local> Okkawa North Memorial - Okkawa Hokubu kinen kan - (In front of Yokogawa Daycare)
Japanese style room 2F

<Date and time> Every Friday from 18:00 to 21:00, Start November 10 (Friday)

<Target Public> 15 vacancies aimed at students with foreign links, (enrolled in elementary and junior high school), in the district around the Okinawa Junior High School.

<Contents> mainly school contents that have difficulty accompanying.

① For students with difficulties in understanding the Japanese language:

・ Teach understanding of character identification and grammar

・ Reading training materials appropriate to your Japanese language ability.

② For students who master Japanese colloquial communication, but do not master school content.

・ Reinforcement and help for the solution of the school contents and homework.

<Registration fee> 500 円 / (payment must be made through the collection envelope)

<Terms of Participation>

・ Register for the Ciranda no Kai Association for this program.

・ Participate in the experimental class.

・ Participate together with the parents for the conference explaining the program on the day of the experimental class

・ As a rule, parents or guardians should come and pick up the student after school. (This program is not responsible for accidents on the way to and from classes).

※Other: On the day of the explanatory talk, we will inform the details of this program, After listening to the explanations, the interested parties must proceed to the enrollment in the program. If there are more candidates than the capacity of vacancies, we can reject surplus registrations

<今後の予定> <Schedule of this program>

10月27日(金) <持ち物> ・参加費100円 (部屋代・保険代として) ・教えてほしい教科書・ドリル・ワークなど October 27th (Friday) <Bring> ・ Value of 100 yen. (Referring to the use of space and insurance). ・ School tasks that need help, workbook, etc.	お試し講座・保護者向け説明会 6:00~7:00 小学生とその保護者 7:00~9:00 中学生とその保護者 Experimental lecture / explanatory talk about the program for parents and guardians. 18: 00 ~ 19: 00 Elementary school students and their parents. From 19: 00 ~ 21: 00 Students of Junior High Schools and their responsible.	※必ず参加してください。その後、希望する人は、申込用紙に記入捺印して提出してください。 ※All interested parties must participate this day and after the explanations proceed to the registration, filling and sealing the registration form and delivering to the teachers this day.
11月3日(金)頃までに Until November 3 (Friday)	参加者決定のお知らせ We will confirm the confirmation of the selected to this program.	※会員登録をお願いします。 ※Register as a member.
11月10日(金) ・11月分参加費500円 ・教えてほしい教科書・ドリル・ワークなど November 10 (Friday) ・ 500 yen for the month of November. ・ Homework assignments that need help, workbook, etc.	第1回 日本語教室 6:00~7:00 小学生 7:00~9:00 中学生 First class Nihongo program 18: 00 ~ 19: 00 Elementary school students. From 19: 00 ~ 21: 00 Junior High School students.	※以後継続して毎週開催 ※As of this date, the program starts with weekly classes on Fridays, at the same time as described on the side.

<問い合わせ Más detalles contacte con nosotros por los teléfonos>

川野 Kawano (ポルトガル語・スペイン語 Português e Español) 090-89643058

新美 Niimi (英語 English) 090-51102200

竹内 Takeuchi (日本語 Nihongo) 090-17485954

シランダの会 日本語教室 参加申込書

Registration form for classes of the Nihongo program of the Ciranda no Kai Association

児童・生徒氏名 Student's name	学校名に○ Circle the name of the school where you study	緊急連絡先 Contact details in emergency
(ふりがな Furigana)	乙川中 Okkawa Chugakko	1 続柄 () Relationship
	乙川小 Okkawa Shougakko	
	乙川東小 Okkawa Higashi Shougakko	
	横川小 Yokogawa Shougakko	
男・女 M・F	年 Grado	Tel
保護者氏名・押印 Name of parents / guardians / seal		② 続柄 () Parentesco
(ふりがな Furigana)	印	
		Tel

※10月27日(金)のお試し講座・説明会のあと、ご記入捺印の上ご提出ください。

※個人情報に関しては、この事業に関すること以外に使用しません。

※11月分の参加費は(500円)11月10日に集めます。

※ Please, after the explanatory meeting on October 27 (Friday), you must complete, seal and deliver this sheet to those responsible at the association.

※ The personal data contained in this card will be for use exclusively for this program.

※ Monthly value of the month 11 (500 円), send on November 10, please

シランダの会 日本語教室 ボランティア指導員募集

シランダの会とは・・・

外国につながる子どもたちが「言葉の壁」等の困難を乗り越え、日本の社会でいきいきと暮らしていけるように支援することを目的とし設立した市民団体です。日本語を勉強したい児童生徒を対象とした日本語教室の開催を主な活動とし、各種相談事業、多文化共生に関する事業も適宜開催していく予定です。

☆日本語教室のボランティア指導者を募集します！

＜開催日時＞ 平成29年11月10日(金)から毎週金曜日

18:00～19:00(小学生) 19:00～21:00(中学生)

＜場 所＞ 乙川北部記念館 2F和室 (横川保育園の向かい側)【H30. 3まで、以降未定】

＜内 容＞ 外国の小中学生と一緒に勉強してください。

(対象は乙川中学校区の小中学生各15人の予定)

例えば・・・ ○国語の教科書を音読するのを聞くこと ○漢字や計算の宿題の手伝い

○中学生の宿題・テスト勉強の手伝い(どの教科でも) ○絵本などを一緒に読む

・・・ など、できることをお手伝いください。

＜ 謝礼等 ＞ 1回につき交通費として500円 (予定)

Q1 経験や資格がなくても大丈夫？

A1. 会の趣旨に賛同し、子どもたちに温かく接してくださる方なら、資格や経験は問いません。日本語指導の経験や資格、教員免許がある方、子どもが好きな学生さんも大歓迎です。

Q2 毎週は大変だけど・・・？

A2. 月に1回でも構いません。メール等でみなさんの予定を教えていただき、毎回5人以上で指導できるように調整してお願いをしていきます。

**★協力してくださる方がたくさん集まると、指導もしやすくなります。
お気軽に、ぜひ一度見学に来てください！**

＜お問い合わせ＞ 川野 090-8964-3058 メールアドレス: cirandanokai@yahoo.co.jp

ボランティア指導員申込書		平成	年	月	日
氏 名(ふりがな)		()			
住 所	〒	—			
電話番号(携帯番号)		-	-	(	- -)
メールアドレス		@			
ラインでの連絡	可	・	否		
話せる言語					

アドバイザー派遣＜報告書＞

- ◆報告日：2017 年 11 月 6 日
- ◆アドバイザー名：酒井美賀、菊池寛子
- ◆派遣先教室・団体名：シランダの会
- ◆派遣先担当者名：竹内香

第 回派遣報告

日 時	2017 年 10 月 27 日（金）18：00～21：00	
場 所	乙川北部記念館（半田市新池町 1 丁目 201-7）	
参加者	17 名（内訳：川野オチラ（会長）、三輪象太郎（市職員）、校長、現教職員、現教職員（日本語担当）、元教諭、P T A など）	
課題 1	分類	ボランティアの担当
	内容	小学生の部は「特別支援の子たち」「来日直後の子たち」「少しまだ支援がいる子たち」「自分でできるが、安心して課題に取り組みたいから来る子たち」でわかれて、それぞれにスタッフがついたが、「“担任制” にするときはついで、フレキシブルにしてほしい」
	背景・要因	昨年度まで特別支援担当で見ていた元教職員が「特別支援の子たち」を担当し、現日本語担当や P T A などがかかわっている人が「来日直後の子たち」や「少しまだ支援がいる子たち」を見ていた。
	改善策（案）	スタッフはボランティアといっても、「無理なく」でも、「毎週であること」を意識してもらった方がいい。「完璧に教えなければ」と思わなくていい。
課題 2	分類	教材
	内容	初期指導の教材がわからない。
	背景・要因	来日数か月や 10 か月の児童たちも語彙カードを取り組んでいた。「各自宿題等、勉強したいものを持ってくる」と声かけをしていたので、漢字ドリルや算数ドリルなどをスイスイ取り組んでいる児童も何人かいた。

	改善策 (案)	・『初期指導』といえども、単語だけでなく、早くから文で導入した方がいい（例：ご飯を食べます。はしでご飯を食べます）。 ・漢字ドリルや計算をスイスイやれている児童たちについて、スタッフは“学習に困難を感じていなさそう”と判断していたが、一度DLAで読む力がどれくらいあるのか、みてみるといいことを伝えた。幸い竹内さんがDLAテスター経験者であったので、提案した。 ・『漢字学習』に不安を感じているようだったので、カードを作って教材の一つにするのも一つであるが、それぞれの児童生徒が自分にあった学習方法を見つけ出すお手伝いをするのがスタッフの役目と伝える。 ・E-learning 教材として『まるごと』を紹介した。
課題 3	分類	授業形式
	内容	子どもももちろんだが、保護者へのサポートも必要
	背景・ 要因	熱心な保護者だが、心配のあまり精神的に滅入っていることがよくあり、話もよく聞いているとのこと。
	改善策 (案)	引き続き、親子での参加を促し、子どもを介して話すだけでなく、少しずつスタッフと保護者で話していくといい。その日にできたことをほめてあげ、家でどのように関わったらいいか（例：音読を聞いてあげるなど）を伝えていくといい。「地球っ子クラブ 2000」など親子教室があることを紹介する。
課題 4	分類	中学生への指導
	内容	難しい言葉をどう説明したらいいかわからない
	背景・ 要因	勉強熱心な生徒で自分でもスマホを使って母語での意味を調べたりできる。それでもわからない言葉がある。
	改善策 (案)	「やさしい日本語」で教える。「驚嘆」は「びっくりする」、「加える」は「入れる」で伝え、生徒が理解したことを実演して見せた。中学生同士、自分がわかる数学をほかの生徒に教えてあげる場面もあったため、そういった生徒たちの教え合い、学び合いも大切だと伝える。

NPO 法人多文化共生リソースセンター東海
2016 年度文化庁委託事業(B)
【取組 2】 地域日本語教育アドバイザー派遣



小学生の部



中学生の部



大府市国際交流協会 OBU INTERNATIONAL ASSOCIATION

[Home](#) [イベント情報](#) [イベントカレンダー](#) [活動報告](#) [ボランティア](#) [広報誌](#) [エレンズコーナー](#) [協会紹介](#)

◆日本語教室ボランティア◆

〈活動内容〉

在住外国人の日本語学習を支援します。和気あいあいとした雰囲気で行っています。

日時：月2～3回 日曜日 10:00～12:00

場所：大府市役所 地下会議室

〈募集〉

特別な資格、経験は必要ありません。

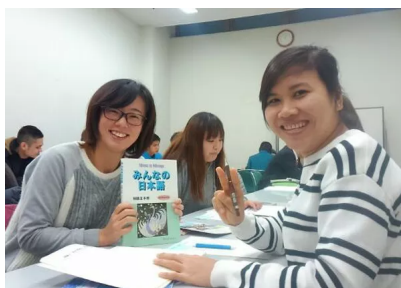
教室のある日に直接来てください。見学は自由です。

開催日は[カレンダー](#)で確認してください

[問い合わせ]

事務局TEL 080-4525-5931

メールアドレス: oia@ma.medias.ne.jp



大府市国際交流協会

大府市中央町5-70
大府市役所青少年女性課内

TEL : 080-4525-5931

FAX : 0562-47-9996

Email : oia@ma.medias.ne.jp

お名前
あなたのメールアドレス
件名
メッセージ

送信



初めてのボランティアさんへ

日本語教室のボランティア活動にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

活動の前に日本語指導研修などが実施されればいいのですが、人手不足でその様な時間がもてません。ボランティアのみなさんには「いきなりの実践」で日本語指導をしていただいているのが現状です。よってみなさんから

- ・「特別な知識や技能を持ってないので、教え方がわからない」
 - ・「自分の教え方でいいのか不安だ」
- などのお声を耳にします。

でも、心配は不用です。なぜなら学習者の大半は、日本人の3～4歳くらいまでの会話力を学びにきているからです。またその程度の語彙力で日常会話の約80%がまかなえているとも言われています。みなさん思い出してください。

生まれてすぐ教員資格を持った方から日本語を教わりましたか？

日本語を教えてくれたのは、お父さんお母さんであり周りの年上の日本人だったのではないのでしょうか。小学校に入ると先生が国語を教えてくださいました。でもここでは「国語」ではなく小学校に入る前の「日本語」を教えてくださいます。ですから特別な知識も技能も必要ありません。みなさんは「日本語のネイティブスピーカー」です。それだけで十分なのです。赤ちゃんに言葉を覚えさせるように指導してください。

みなさんをお願いしたいのは、とにかく「日本語のシャワー」を浴びせるように話しかけていただくことです。そして学習者から日本語を「発話」させるように導いてください。コミュニケーションがとれなくても問題ありません。学習者が「聞き取ろう」「話そう」とする時の脳の働きが大切なのです。赤ちゃんともコミュニケーションがとれなくても不安になりませんよね？愛情を持って接していただければ学習者にもちゃんと伝わると思います。

ちなみに、日本人が通う英会話教室も英語を母語とする外国人が先生ですが、教員資格を持っている方はほとんどいないのが現状です。資格のない外国人の先生が教材をもとに教えてくれます。この教室とまったく同じスタイルなのです。

ただ、以下のような注意点もあります。

1. **情に流されて学習者にお金を貸すことはやめましょう。**
(アパート入居時の保証人にもならないことをお勧めします)
2. **学習者との恋愛は禁止ではありませんが自己責任でお願いします。**
(この教室で国際結婚された方もいますがストーカー被害を受けた方もいます)

外国人と接することで新たな発見をしたり、普段生活しているだけでは知ることのできない情報も得られたり、ここでは楽しいことがたくさんあります。ボランティア活動を通じ、みなさんの人生がより豊かで刺激的なものになれば大変うれしく思います。

大府市国際交流協会
日本語教室

[HOME](#) > [TIAからのお知らせ](#) > [にほんご教室](#) 田原教室

にほんご教室 田原教室

2017年08月22日更新

外国の方のためのにほんご教室を開催しています。
にほんごを勉強したい人、日本文化を体験したい人、
みんなで楽しく勉強しましょう。

【期 間】 2017年4月1日（金）～2018年3月31日（金）

【日 時】 金曜日 19：30～21：00

日曜日 10：30～12：00

【場 所】 田原文化会館 101会議室など

【参加費】 無料

[年間スケジュール表\(29\)](#)

We hold "Nihongo Class" for people from other countries.

Everybody who want to learn Japanese, who want to experience Japanese culture,

let's try it with us!

[Term] 4/1/2016 ~ 3/31/2017

[Time] Fridays 19:30 ~ 21:00

Sundays 10:30 ~ 12:00

[Place] Tahara Community Center

101 Conference Room, etc

[Fee] Free

[TIAからのお知らせ](#)[これからの行事](#)[活動報告](#)[Bridge（広報誌）](#)

特定非営利活動法人

たはら国際交流協会

入会案内はコチラ



各種登録申込書

ダウンロードはコチラ



心のふれあい、私達の宝物・・・

Warm feeling are our Treasure...

特定非営利活動法人

たはら国際交流協会

« [にほんご教室 渥美教室](#)[世界の料理教室～モンゴル編～](#) »[🏠 このページの先頭へ](#)[HOME](#) | [TIA概要](#) | [これからの行事](#) | [活動報告](#) | [Bridge（広報誌）](#) | [委員会紹介](#) | [入会案内](#) | [リンク集](#) | [お問い合わせ](#) | [登録申込書](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#)

NPO法人 たはら国際交流協会

〒441-3421

愛知県田原市田原町汐見5 田原文化会館内

TEL (0531) 22-2622 FAX (0531) 22-2625

開設時間：火曜日～日曜日 午前10:00～午後6:00

Email: info@tahara-tia.jp

TAHARA INTERNATIONAL ASSOCIATION

Tahara Cultural Park

5 Shiomi Tahara, Tahara-city, Aichi 441-3421 Japan

Tel(0531)22-2622 Fax(0531)22-2625

Office Hours: Tuesday to Sunday, 10:00 a.m.-6:00 p.m

Email: info@tahara-tia.jp

[HOME](#) > [TIAからのお知らせ](#) > [にほんご教室 渥美教室](#)

にほんご教室 渥美教室

2017年05月24日更新

外国人のための「にほんご教室」です。
テキストを使って初中級の日本語を学びます。

- 【開催日】 毎週木曜日
- 【時間】 19:30～21:00
- 【場所】 福江市民館
住所：田原市福江町中紺屋瀬古8
- 【費用】 無料
- 【講師】 小川美緒（元LLES外国語学校講師）

It is the "Nihongo Class" for people from other countries.

You will learn Beginner & Intermediate Level Japanese with texts.

[Date] Every Thursday

[Time] 19:30 ~ 21:00

[Place] Fukue Community Center

Address: 8 Zeko, Naka-konya, Fukue-cho, Tahara-shi

[Fee] Free

[Instructor] Mio Ogawa (Formerly taught in LLES Language School)

[TIAからのお知らせ](#)[これからの行事](#)[活動報告](#)[Bridge（広報誌）](#)

特定非営利活動法人
たはら国際交流協会
入会案内はコチラ



各種登録申込書
ダウンロードはコチラ

[にほんご教室 田原教室 »](#)[🔍 このページの先頭へ](#)[HOME](#) | [TIA概要](#) | [これからの行事](#) | [活動報告](#) | [Bridge（広報誌）](#) | [委員会紹介](#) | [入会案内](#) | [リンク集](#) | [お問い合わせ](#) | [登録申込書](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#)

NPO法人 たはら国際交流協会

〒441-3421
愛知県田原市田原町汐見5 田原文化会館内
TEL (0531) 22-2622 FAX (0531) 22-2625
開設時間：火曜日～日曜日 午前10:00～午後6:00
Email: info@tahara-tia.jp

TAHARA INTERNATIONAL ASSOCIATION

Tahara Cultural Park
5 Shiomi Tahara, Tahara-city, Aichi 441-3421 Japan
Tel(0531)22-2622 Fax(0531)22-2625
Office Hours: Tuesday to Sunday, 10:00 a.m.-6:00 p.m
Email: info@tahara-tia.jp

アドバイザー派遣＜報告書＞

- ◆報告日：2017 年 12 月 16 日
- ◆アドバイザー名： 鈴木勝代 酒井美賀
- ◆派遣先教室・団体名：たはら国際交流協会
- ◆派遣先担当者名：瀬戸内、松野

第 1 回派遣報告

日 時	2017 年 12 月 16 日（土）11：30 ～14：30	
場 所	豊橋市役所	
参加者	瀬戸内、松野、鈴木、酒井	
課題 1	分類	・ 教え方
	内容	・ マンツーマンでの対応が学習者の希望に答えられているか不安に思う。
	背景・ 要因	・ ボランティアの自由度が高く、やり方がバラバラ。問題集を使ってもそれをやるための勉強ができていない。 ・ N 3 など試験対策をするべきかどうか。 ・ 学習者の居場所づくりになっているか。
	改善策 (案)	・ 協会の方針をしっかりと打ち出し、ボランティアと共有する。 ・ 学習者の背景を知ることや、基本的な考え方、全体の見直しを提案。 「私たちの日本語教室 i」2 月 4 日 田原国際交流協会 担当：鈴木
課題 2	分類	・ ボランティアの資質
	内容	・ ボランティアと活動に対しての共通認識が持てているか確信がない。 ・ ボランティアは協会に頼りがちで、運営認識が薄い。 ・ アンケートを取ったが、まだボランティアの意見が十分に聞きだせていない。
	背景・ 要因	・ 税金で運営されているという意識が薄く、活動に対して自己満足的である。

		・意見をあまり言わない。必要以上にかかわらない。 ・研修会など外部からの話は受け入れやすいが、遠くまでは聞きにいかない。
	改善策 (案)	・協会とボランティアとの間にある活動の取り組みについて共有できるよう話し合う時間を作る。 「私たちの日本語教室 ii」3 月 4 日 田原国際交流協会 ワークショップ 担当：酒井
課題 3	分類	
	内容	
	背景・ 要因	
	改善策 (案)	

アドバイザー派遣＜報告書＞

- ◆報告日：2018 年 2 月 4 日
- ◆アドバイザー名： 鈴木勝代 酒井美賀
- ◆派遣先教室・団体名：たはら国際交流協会
- ◆派遣先担当者名：瀬戸内、松野

第 1 回派遣報告

日 時	2018 年 2 月 4 日（日）10：30 ～16：00	
場 所	たはら国際交流協会（田原文化会館）	
参加者	瀬戸内、松野、鈴木、酒井 ボランティア 14 名（協会職員含む）	
課題 1	分類	課題出し（教え方、ボランティアの資質）
	内容	・協会の方針をしっかりと打ち出し、ボランティアと共有する。 ・学習者の背景を知ることや、基本的な活動についての考え方、全体の見直しを提案。
	背景・要因	日頃、教室活動以外で教え方や活動方法について話し合う時間をとっていないため、問題点や課題を共有できていない。 聞き取りで出た課題 ・いつも話している学習者以外とはうまく話せない。 ・活動自体は楽しんでやっているがそれだけでいいのか？ ・学習者のレベルがわからない。 ・会話は楽しいが試験合格のための学習になると荷が重い。 ・N1 の勉強などどう教えたらいいのかわからない。 ・文法の教え方で戸惑う。国語文法でいいのか？ ・どのレベルに導いたらいいのかわからない。 ・テキストがない場合、学習を始める導入が難しい。 ・すでに話の出来る学習者に何を教えたらいいかわからない。 ・目標を持って学習している人が少ない。 ・国語の教科書を使っていいのか？
	改善策 (案)	話し合いで出た意見の中から課題を見つけ、次回解決策を話し合う。

	1.教室に来る学習者の目的 ①コミュニケーションをとること ・ 気構えないで接する。友達になる。 ・ 人としての信頼関係を築く。 ・ 会話の中で生きた日本語が使える。 ②同国の人と母語で話をする事 ③日本人と知り合うこと ・ 日本の文化を知る。 ・ 日本人の家を訪ねるなど身近な生活を知る。 2.ボランティアがすること ・ 相手がどれくらいの日本語能力があるかを最初に時間をかけて聞き取る。 ・ 相手が求めていることをわかった上で、添えるような活動にする。 ・ 漢字を学びたい人に子ども用ではなく、大人にあった生活の中の漢字や教材を使う。
--	---

備考：次回「私たちの日本語教室 ii」

ワークショップ「できることから始める」

日時：3月4日 午後1時

場所：たはら国際交流協会

◎参加者は違う教室や立場の人もいて、日本語に携わるといっても初めて会う、目的も様々。今までそれぞれ悩むことがあっても話し合う機会がなかったようで、参加者同士で活発な意見交換ができた。悩みや意見を出し合うことで、共有できたことが多いと思う。

アドバイザー派遣＜報告書＞

- ◆報告日：2018 年 3 月 4 日
- ◆アドバイザー名： 酒井美賀 土井佳彦
- ◆派遣先教室・団体名：たはら国際交流協会
- ◆派遣先担当者名：瀬戸内、松野

第 1 回派遣報告

日 時	2018 年 3 月 4 日（日）10：30 ～16：00	
場 所	たはら国際交流協会（田原文化会館）	
参加者	瀬戸内、鈴木、土井、酒井 ボランティア 9 名（協会職員含む）	
課題 1	分類	テーマ出し
	内容	前回の研修会で出た課題を話し合い、具体的な解決策を考える。
	背景・ 要因	・今までそれぞれ悩むことがあっても、話し合う機会がない。 ・悩みを共有することがない。 ・運営側から、ボランティアに共通認識をもって欲しい事柄があっても詳細までは伝わっていない (学習者へのインタビューやカルテの書き方など)
	改善策 (案)	・ワークショップを通してテーマ出しをし、具体的に解決策を考えた。 ① 新規学習者へのインタビュー方法 ・カルテがあまり活用されていないので、どのボランティアが見ても学習者の状況（日本語レベル、学習目的等）がわかるようなものに作り直す ・カルテ記入時に、文字の「書き」レベルを見る ・インタビューは、カルテに書かれた内容をもとに質問したり、教室で対応できることを伝えたりする ・大事なものは、相手の日本語能力をはかることと、相手に心を開いてもらうこと ② カルテの見直し

	・書き込む内容がわかり易いように記入項目をみんなで検討する。 ・なんのためにカルテを書くのかを共通認識する。 ③教科書選択について ・協会が所有している教科書を手に取ってみる機会をつくり使い方や、教え方を話し合う機会を作る。
--	--

備考：前回の研修会参加者でボランティア登録者 1 名。

◎協会ボランティアから、以前は課題呼びかけに対しての意見が出ないと聞いていたが、ワークショップでは活発に意見交換ができた。教室ボランティアもこの 1 か月の間に、話し合う機会が何度かあって、運営に対する共通認識が少人数間では持っている。まだ全体で共有できるよう工夫が必要だ。



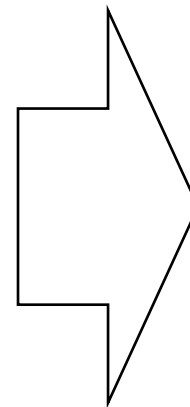
「私たちの日本語教室 ii」

ワークショップ： できることから始める

1. 前回の話し合いで出た課題を整理する
2. 活動を考える 『「使える」日本語を学ぶ!』紹介
3. 具体化する
4. 役割の話

聞き取りで出た課題

- ・いつも話している学習者以外とはうまく話せない。
- ・活動自体は楽しんでやっているがそれだけでいいのか？
- ・学習者のレベルがわからない。
- ・会話は楽しいが試験合格のための学習になると荷が重い。
- ・N1の勉強などどう教えたらいいのかわからない。
- ・文法の教え方で戸惑う。国語文法でいいのか？
- ・どのレベルに導いたらいいのかわからない。
- ・テキストがない場合、学習を始める導入が難しい。
- ・すでに話の出来る学習者に何を教えたらいいかわからない。
- ・目標を持って学習している人が少ない。
- ・国語の教科書を使っていいのか？



1.教室に来る学習者の目的

- ①コミュニケーションをとること
 - ・気構えないで接する。友達になる。
 - ・人としての信頼関係を築く。
 - ・会話の中で生きた日本語が使える。
- ②同国の人と母語で話をする事
- ③日本人と知り合うこと
 - ・日本の文化を知る。

日本語の学習者には、日本語の生活を知りたいという目的がある。

2.ボランティアがすること

- ・相手がどれくらいの日本語能力があるかを最初に時間をかけて聞き取る。
- ・相手が求めていることをわかった上で、寄り添えるような活動にする。
- ・漢字を学びたい人に子ども用ではなく、大人にあった生活の中の漢字や教材を使う。



2017年10月から毎週金曜日18時から19時まで 丸池荘集会所で日本語教室開催

これまで4回開催し、参加者は12名程度。
大人（保護者）の参加も見られる



まなびや@KYUBANの見学

●10月27日(金) に活動を見学
⇒子供たちの大切な居場所

●まなびやの若者3名が丸池荘の日本語教室に参加し、途中から授業を進行してくれる
⇒楽しい作業をしながら、厳しくルール指導。子供たちも楽しそう
⇒今後も継続的に協力していただける形に持っていければいいと思う

アドバイザー派遣＜報告書＞

- ◆報告日：2018 年 2 月 16 日
- ◆アドバイザー名：酒井美賀 田中智子 土井佳彦
- ◆派遣先教室・団体名：丸池荘
- ◆派遣先担当者名：内山智尋

第 2 回派遣報告

日 時	2018 年 2 月 16 日（火）18：00 ～20：00	
場 所	丸池荘集会所	
参加者	内山、斎藤、下地、酒井、田中、土井、他ボランティア 3 名	
課題 1	分類	活動内容
	内容	大人（保護者）との関係づくりにつながる教室にするにはどのような活動にするか。
	背景・要因	ボランティア 3～4 人、他教室からのヘルプも加えた体制で行っている。教室に来る子供たちは 9～12 人ほど。教室活動時間は 18 時～19 時の 1 時間。内容は宿題やゲームなど。以前は送り迎えの保護者がきいていたが、大人教室がないことと、仕事などの関係で来なくなってしまった。
	改善策（案）	①年間スケジュールを立て、外国人が参加できるイベントを企画することを提案。準備から参加してもらう事が理想。 ②子どもの絵画発表会や一緒にできるイベントを通して地域の人に活動を見せる場をつくり、地域住民の理解を深めることを提案。 子ども教室は継続する。
課題 2	分類	教え方
	内容	大人教室を作った場合の内容
	背景・要因	日本語教育経験者がいない。やり方がわからない。
	改善策（案）	①「学校の手紙を見る会」「就学事前説明会」「先輩外国人の話を聞く会」など学校生活に役立つことを取り上げ企画することを提案。

課題 3	分類	教え方
	内容	継続する子ども教室の活動内容、学習内容
	背景・要因	何を教えたらいいか、手探りの状態。 日本語教育未経験者でもできる支援の方法について知りたい。
	改善策 (案)	①参加している子どもや保護者に「今、何に困っているか」を聞き取る（これまでできていなかった）。 ②学校からの連絡帳を子どもと一緒に確認（書かれてある日本語が理解できているかどうか、も含めて）する。 →①②を通して、必要な支援・この教室のメンバーでできる支援を考える。 ③（日本語教育未経験者でもできる活動アイデア一例） 外国人保護者にとってはチェックが難しい国語「音読」の宿題サポート（読み方、内容理解などの確認）

* 次回は未定。3 月中にふりかえり訪問。新担当者顔合わせ。

